



姥(うば)山会津藩陣跡
写真は貞吉の孫、一元さん

白虎隊、鉄砲の威力
白虎隊は若松城内にあったヤーゲル銃を使用。射程距離約二〜三〇〇メートル。価格は現在の貨幣に直すと約八万円。
西軍は、スペンサー銃、射程距離約八〇〇メートル、価格は約一二〇万円。スナイドル銃、射程距離約一二〇〇メートル、価格は約九〇万円。



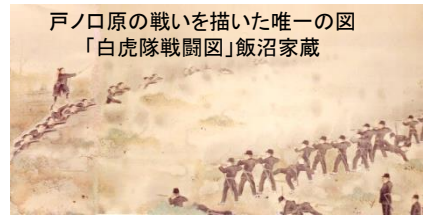
菰土(こもつち)山会津藩陣跡

白虎隊飯沼貞吉

飯沼貞吉(明治四年貞雄と改名)
安政元年(一八五四)生れ。
明治元年(一八六八)白虎隊として十四歳で戸ノ口原へ出陣。

十二月山口県美祢市へ疎開
明治五年(一八七二)工部省入省
明治六年(一八七三)小倉へ転勤
家族は斗南から会津へ帰る
明治十四年(一八八二)れんと結婚
昭和六年(一九三二)七十七歳で死去。
仙台輪王寺に埋葬
昭和三十二年(一九五七)飯盛山に遺髪と歯を埋葬

明治元年(一八六八)八月二十一日、猪苗代町の母成峠が破れると会津藩は、二十二日、城にいた兵を総動員。戸ノ口原へは佐川官兵衛、戸ノ口原南の笹山原には西郷頼母、日橋川北の大寺(磐梯町)には萱野権兵衛を派遣します。二十二日夕方四時頃、西軍の薩摩藩川村隊が十六橋まで到達。会津藩では、大野原・強清水・戸ノ口原に胸壁(きょうへき)と呼ぶ塹壕(ざんこう)や要害と呼ぶ陣地を一日で構築します。強清水東の丘陵には、当時の陣地跡が八カ所、西軍の塹壕が一カ所残っています。
八月二十三日(現在の十月八日)早朝六時頃、貞吉がいた篠田小隊は、姥山陣地跡から東約一五〇メートルの地点に移動し西軍と撃ち合い死者を出し退却しました。八時頃、湊町赤井の小坂、金山地蔵前で休憩、十六人を確認。
九時半頃、飯盛山で西軍と遭遇討ち合い、飯盛山の洞門に入ります。十時半頃飯盛山で自刃。三日後、喜多方市塩川町へ移動と山中で療養。東京へ移送され、引取りてがなく、山口県の檜崎頼三が引き受け山口県美祢市へ行きます。
明治五年に工部省へ入り、下関から札幌までの日本の電信電話網の整備をしました。

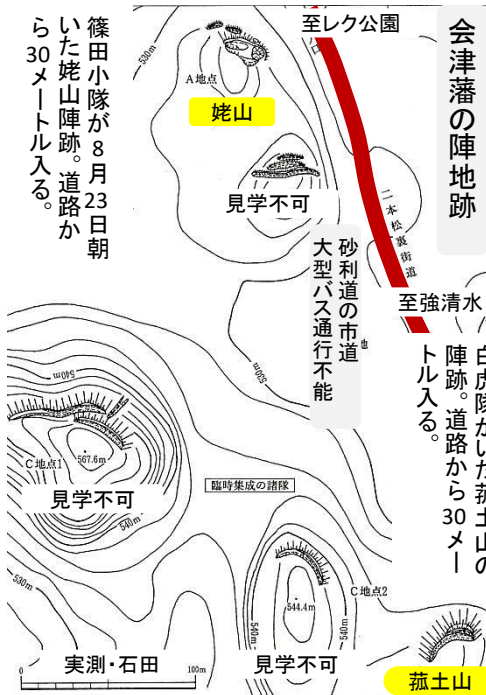


戊辰902

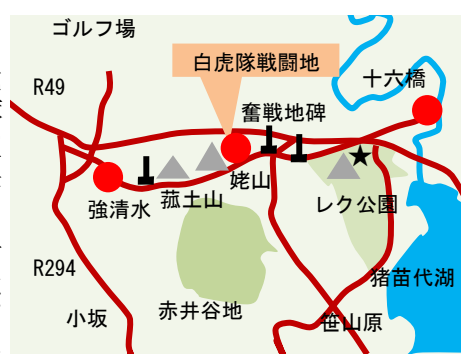


【白虎隊士墓】戸ノ口原強清水東にあり、村人が白虎隊士を子供と思い、建てた線刻の地蔵

【注意】熊、蛇、蚊がいます。ご注意ください。ゴミは持ち帰ります。



白虎隊の飯沼貞吉は、八月二十三日、飯盛山で渡部むめ、印出はつに夕方四時頃発見され、二日後、塩川へ徒歩で移動し、会津藩と長岡藩医の治療を受け、喜多方市沼尻の不動堂に一カ月いました。



【交通機関】R49沿い・バス不便
磐越道、磐梯河東ICから約15分
会津若松駅から約15km。
タクシーで駅から約30分。
【トイレ】★R49沿いレク公園内にあり
【両軍の陣地跡】▲会津藩は戸ノ口原8カ所
西軍はレク園内に1カ所あり
【戦死者墓】↓